

プランクトン調査結果のお知らせ

各位

本日、野見湾においてプランクトン調査を実施しましたので、下記のとおり結果をお知らせ致します。

検鏡の結果、有毒種のアレキサンドリウム属が最高で53 cells/mL確認されました。アレキサンドリウム属が増殖し、赤潮となるおそれがあります。アレキサンドリウム属には平成29年に養殖魚の被害原因となった種類であるアレキサンドリウム・レーイが含まれていましたので、増殖した場合には十分注意してください。

表 プランクトンの検鏡結果 (cells/mL)

調査地点	水深	アレキサンドリウム属	コクロディニウム・ポリクリコイデス
湾奥ブイ	1-10m	53	0
馬の背	1-10m	6	0

※本日の調査は1~10mの海水を混合して検鏡しています。

プランクトンが最も多い層の細胞数は上の表の値よりも高いと考えられますので、十分注意してください。

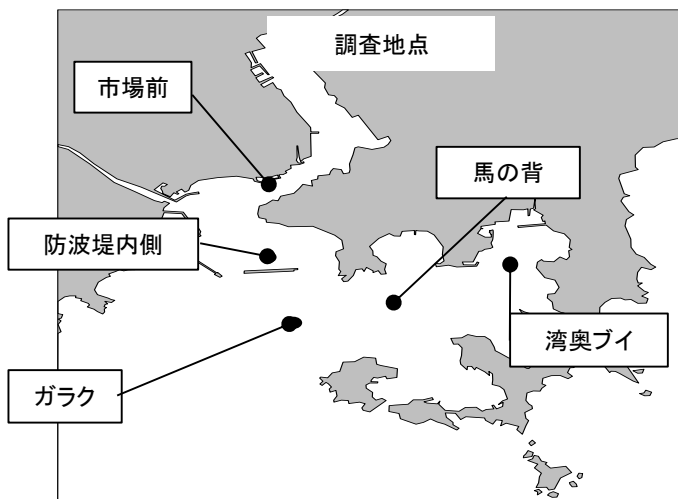


図 調査定点

漁業被害が想定される細胞密度

- ・アレキサンドリウム属：
500~cells/mL (貝の毒化)
- ・コクロディニウム・ポリクリコイデス：
数百~1,000cells/mL (魚類のへい死)